

別 紙

公開概要書

受付日	令和7年7月6日	回答日	—	担当課	秘書広報課 人事課
意見等の内容	四月に市民学習センターで開かれた市政懇談会に出席いたしました。 当日は広報強化、とくに SNS のお話もあり、当初は自分には縁遠い内容と感じておりました。しかし、七月号の広報紙を拝見し、大変印象が変わりました。 表紙がこれまでにないほど明るく、華やかで、見た瞬間に引き込まれました。「ゆかた益田まつり」の記事も、市役所が書きたいことではなくて、市民の関心に寄り添った構成だと感じました。 若い職員が関わったのではという見方もしており、私もなるほどと頷いたところで す。 私自身、退職間際に若者の意見を取り入れた経験があり、それが良い結果につながったことを思い出しました。新しい感覚を受け入れる柔軟さの大切さを、改めて感じております。 一方で、最近市役所で応対される職員の方々の中に、非常に派手な髪色や、華美なネイルをされている方を見かけ、少々驚きました。 若い世代の個性として捉えるべきという考えも理解はいたしますが、公の場における節度や清潔感、そして市民感情への配慮は大切ではないかと感じております。 物価高騰の中で日々の暮らしに不安を抱える市民にとっては、装飾過多な見た目が「自由さ」よりも「ずれ」を感じさせてしまうこともあるのではないのでしょうか。 また、現在ではハラスメントの問題から、上司が注意しづらくなっているのではないかと案じてもおります。 広報に限らず、市政全般において二十代、三十代の柔軟な発想を積極的に取り入れていただきつつ、同時に公共の場にふさわしい節度と信頼感も大切にいただければ幸いです。 四十以上の年配世代は、必要な時に軌道修正を行い、若い人の挑戦を支える立場であるべきだと、あらためて感じております。 現場で市民と接する若手職員や、外部から加わった方の視点が、市民に近いものであることも多いはずです。そうした声を柔軟に受け止めつつ、市としての信頼と多様性の両立を図っていただければと願っております。 これからも益田市を応援しております。				
回答の内容	回答希望なし				